

月潟小学校卒業者	
卒業し、めでたく中学生とな ります。	本年度は六十三人の児童が
○旧6年1組	(敬称略)
氏名	保護者
市嶋佳幸	笠原信康
吉川小島	加藤学
吉川琢祐	吉川健一
田辺達弘	良也
中嶋児玉	月潟一郎
長谷川晋一郎	月潟健一
小林達弘	月潟吉雄
本間直樹	木滑也
本間一信	木滑雄
昭和洋	木滑也
茂清寛	木滑也
武志哲	木滑也
月潟月	大別當
月潟月	東長島
月潟月	大別當

○旧6年2組	横山 青柳理恵子 阿部 千春	今井 大輔 幸一郎 達夫	横山 英雄 重英	山田 静夫 均
横山 本間 長谷川加恵	大橋千賀子 小山田 近藤 島田	大輔 小山田 綾子 明子	幸一郎 達夫 新憲 夫	上曲通 月潟 下曲通 木滑
綾子 高木かおり 関本 綾子	田辺佳菜湖 高木かおり 関本 綾子	月 月 月	釣 寄 月	月潟 木滑
理恵 英次郎 成美	長沼亞由美 野内 麻耶	春 正 松 栄	誠武 幸	西薈場 滑
月 月 月	月 月 月	月 月 月	月 月	東長島 月潟

北	児玉	佐藤	諷訪	櫻井	光貴	利男	上曲通
尚輝	輝光			元治	未治郎	哲郎	木滑
康弘				西蒼場			
高橋百合恵	関根	関根	俊哉	翼	利修	大別當	
関本	曾山	曾山	卓	正	一		
関根	長沼	長沼	貴広	真			
関根	登石	登石	剛史				
関根	五十嵐	五十嵐	勇次				
関根	石塚	石塚	新市				
関根	落田	落田	雄				
関根	小林	小林	月				
関根	白倉真理子	洋子	月				
関根	神保和恵	幸子	漏				
関根	久衛	優子	西蒼場				
関根	隆誠	三男	木滑				
関根	博	信廣	上曲通				
関根	釣寄新	木滑	月漏				
関根	西蒼場	西蒼場	西蒼場				
関根	下曲通	木滑	月漏				
関根	釣寄新	月漏	西蒼場				
関根	西蒼場	西蒼場	西蒼場				
関根	西蒼場	西蒼場	西蒼場				

甲濱小学校卒業者

長い冬が経れりをへり 待がちんか君の語れどと
もに、『卒業』という二文字を耳にします。
小学生は中学校へ、中学生はまつたく違つたこと
ろでの生活が始まるんですね。
みんなの『卒業』を心からお祝いして、これから
の活躍を期待しています。

祝卒業

月渦小学校

3月15日卒業

丹波中学校卒業記

青柳	野沢	登石美絵子
氏	山口	知美
名	横山	淳子
良和	明子	智加
哲郎	重英	富雄
保護者	鉱一	清也
月潤	東長島	月漫
地区名	上曲通	

模で有名であるが、我が月潟にも五十余年前までは、毎年六月五日・六日・七日の三日間、今の月潟橋の下手に中の口川をはさんで東西に、日本紙十六枚から二十枚を張り合、わせて六角帆を作り、その帆を空高く揚げて、東西の帆をからめて引っ張り合い、相手の帆と糸の一部をもぎ取った方が勝ちになるという、男らしい勇敢な催しでした、私も昭和三年ごろから、帆揚げをし、合戦に参加したのは十年ぐらいであったが、あの男らしい帆合戦も昭和十二年に日支事変が起ころや、非常時の名の下に消え去ってしまったのであります。

この中の口川は、農業者の灌排水に役立つてゐるし、上水道の水源にもなつてゐるのあります。我が月潟村も大いにその恩恵に浴しているのであるから、その感謝の意もこめて、夙合戦の復活を切望して止まないものであります。

その復活考想の一端を述べて見ますと、公民館の主催の下に、大字月潟は一番組から八番組まで各一組まで作り、大別当・西萱場・曲通・木滑・西長島・釣寄（釣寄新）の各字に一組、計十四組を主体に商店有志・個人有志の参加を認めて、月潟村夙合戦協会を組織し、開催期間は、農家の田植えが五月二十日ごろ今まで終るよう、白根の夙合戦前の五月下旬の日曜日を中心にして三日間、月潟橋下手に中の口川をはさんで、東西に同数組（抽選）に別れて合戦することにしたらよいと思ひます。

白根の夙のよう大きくなりから、北風でなくとも風さえあれば必ず揚げられるので、雨が降らない限り日のべの必要はなく、予定通り実行できるのであります。

◆このほかに、「月潟の梨を宣伝して有名にしよう」「資源を大切にした、きれいな村づくり」など、みなさんが「月潟村をどうしたら、今まで以上」と考えてくれているのです。内容どれひとつとっても、ただの夢にしておくだけでは惜しい内容です。ですが、実際の実現となるとさまざまな問題や課題が生じてきます。

こうした、村民みなさんの声がいえる場を、どんどん増やしていくこと、それをアイデアとして村づくりに取り組んでいくことか、行政側の努力であり役目だと考えます。この大会で、これだけ思われている村なんだ、つくづく幸せな村だと感じ、もつと変わつていかなければいけないと言えられた気がします。

林 佐おし
侃 先生

動不足・姿勢の悪さ・筋肉の衰えなどにより、若年層や女性にも「腰痛症」が増えていきます。また、この腰痛と成人病には関係があり、肝炎などの内臓の病気・背髄神経や婦人病などの病気が関連している場合があります。

腰痛予防のために、日ごろからの運動で腹筋や背筋を鍛えたり、寝具などの工夫も大切です。痛みの症状が強い場合は、とにかく安静にしていることが最も大切です。早目に専門医に診察してもらつてください。

いかがですか、当日会場に来れなかつたみなさんのために簡単に講演の内容を説明しました。腰痛に大切な運動、日常生活から注意しながら健康管理をしてみてください。

この「腰痛症」の治療もがんと同じで、早期治療が一番だそうです。みなさん無理しないでください。



民病院副院長

侃 なおし
先生